

他領域の「ご意見を聴く会」における御意見への対応(案)
(放射性廃棄物の処理・処分に関するもの)

1. 「原子力委員会政策評価部会 ご意見を聴く会(テーマ:原子力の平和利用の担保に係る施策の評価について)(2006年11月開催)」参加募集時に頂いた御意見

No.	御意見	対応(案)
No. 33	原子力発電所の使用済み燃料を再処理した際に発生する高レベル放射性廃棄物の最終処分先が決まっていません。これを早く決めないと、エネルギー資源としての原子力は、いずれ限界を迎えてしまいます。日本は加工貿易によって外貨の殆どを獲得している訳ですから、加工に必要な電気が不足すると、国家存亡の危機をもたらします。国には、国民的な議論を展開していただき、早く地点を定めるなどして上記懸念を払拭してもらいたいです。	廃棄物小委は、2007年11月に取り組みの強化策を取りまとめ、国、NUMO、電気事業者等は、この強化策に従って取り組みを強化しつつあります。
No. 43 (一部)	<p>本来的には原子力委員会の主分野でなく原子力安全委員会や原子力発電環境整備機構の関連であるが、原子力委員会の政策決定により、その後始末せざるを得ないことから以下2点について意見を提起したい。</p> <p>① 「原子力政策大綱2-1-1「安全対策」における領域で検討するため、記載を省略」</p> <p>② 高レベル放射性廃棄物処分場問題</p> <p>原環機構は「循環型農業業と地球にやさしいまちづくり」と称して想定する地域像を</p> <p>i) 人口5,000人程度</p> <p>ii) 第1次産業が産業構造の1/3程度</p> <p>iii) 財政歳出総額20億円、財政力指数0.2程度</p> <p>を上げて、ターゲットにしているようだが、<u>国策によって過疎を進行させ、財政能力が低下し、疲弊した町村に「文献調査」に手を挙げさせ年間 2.1 億円(現在、10 億円の予算要求)もの血税で人心を札束で買おうとするやり方は問題あり。「汚いこと、嫌なこと」をカネで解決するやり方は到底許せない。</u></p>	3.1.1.1(3)-3 (公募に応募していただくまでに取り組むべきことについて) ⑫及び⑬に、御意見の主旨を記載しています。